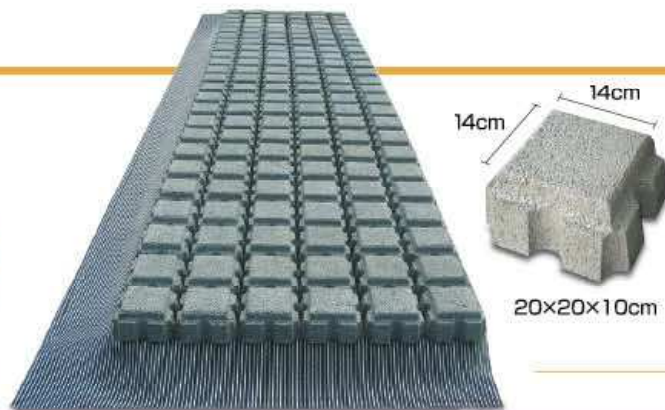


く～るまっと

緑化舗装ブロック

く～るまっと



く～るまっとの特長

経費削減と耐久性の向上

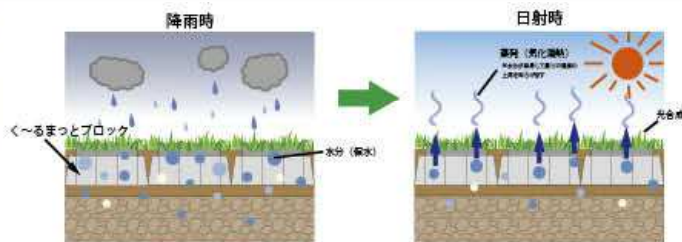
- 施工費の大幅削減
ブロック1個1個がシートに接着されており、マット施工が可能で施工費が大幅に削減できます。
- 耐久性の向上
各ブロックに隙間がなく、なおかつシートに接着されているため車両切り替えし時のタイヤの摩擦によるズレが生じません。
- 沈下の防止
各ブロックがシートに接着されているため、局部沈下を抑制できます。

植生機能に優れる

- 緑化率50%でヒートアイランド抑制効果
アスファルト舗装と比較して表面温度を10℃以上低減できます。
- 二酸化炭素削減
ブロック間の植生が光合成によって二酸化炭素を吸収し成長することにより、二酸化炭素を削減します。
- 植生環境向上
10cm厚の土量により植生に好ましい環境を実現します。またブロック間の凹部の隙間により植生を保護します。

保水性に優れる — 保水性く～るまっと —

- 保水性に優れる(1㎡あたりの保水量は、ブロック部のみで10ℓ程度)
散水や降雨によりブロック内部に水分を保持し、日射時には水分が蒸発することにより、周辺温度を抑えます。
- 吸水性に優れる
ブロック下部の土壌から水分を吸い上げるにより、ブロック内部の常時保水が期待できます。



透水性に優れる — 透水性く～るまっと —

- 透水性に優れる
ブロックは透水係数 $1.0 \times 10^{-1} \text{ cm/sec}$ 以上を有しており、雨水は速やかに透水され、表面に水たまりは発生しません。
- ゲリラ豪雨・集中豪雨・洪水対策
ポーラスコンクリートの空隙部や客土部分などに雨水を一時貯水することが可能です。1㎡あたりの貯水量は、51ℓ程度。※
貯水後は、緩やかに地下浸透します。
(※クラッシュランも含む施工面全体の貯水)

貯水量計算

